

# 資料編



---

あいちグローバルプラン-アジアのあいち、世界のあいち-



# 1 国際化関連指標

## [1] 出国愛知県民数、日本国民数の推移

	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
出国愛知県民数	603,882	906,073	983,980	1,002,700	958,006	984,169	1,079,964	1,023,450	1,030,689	832,017	1,077,545	1,158,378	1,177,514
出国日本国民数	10,997,431	15,298,125	16,694,769	16,802,750	15,806,218	16,357,572	17,818,590	16,215,657	16,522,804	13,296,330	16,831,112	17,403,565	17,534,565

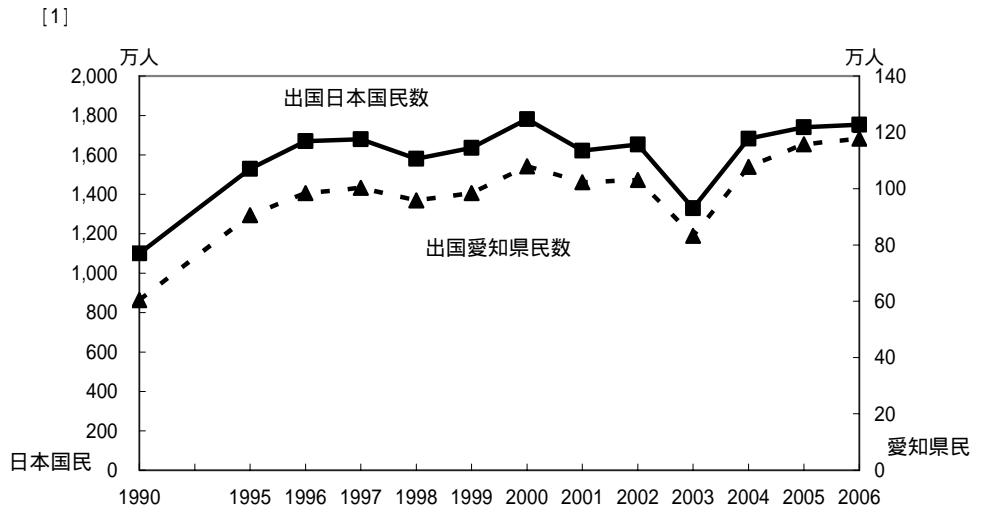
(備考) 各年末現在

(資料) 法務省大臣官房司法法制部編「出入国管理統計年報」

## [2] 都道府県別出国者数(2006年末現在)

	出国者数	構成比
東京都	3,209,470	18.3
神奈川県	1,898,496	10.8
大阪府	1,375,728	7.8
愛知県	1,177,514	6.7
千葉県	1,098,694	6.3
埼玉県	1,074,016	6.1
兵庫県	858,564	4.9
福岡県	558,008	3.2
静岡県	442,311	2.5
京都府	398,240	2.3
その他	5,443,524	31.0
全国合計	17,534,565	100.0%

(資料) [1]に同じ



## [3] 愛知県及び全国の旅券発行数の推移

	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
愛知県	276,962	349,071	377,884	360,494	335,130	345,857	364,122	274,300	232,155	171,986	220,833	242,771	292,765
全国	4,697,047	5,825,404	6,236,438	5,811,526	5,372,272	5,611,979	5,857,835	4,348,881	3,749,166	2,721,029	3,485,325	3,612,473	4,302,191

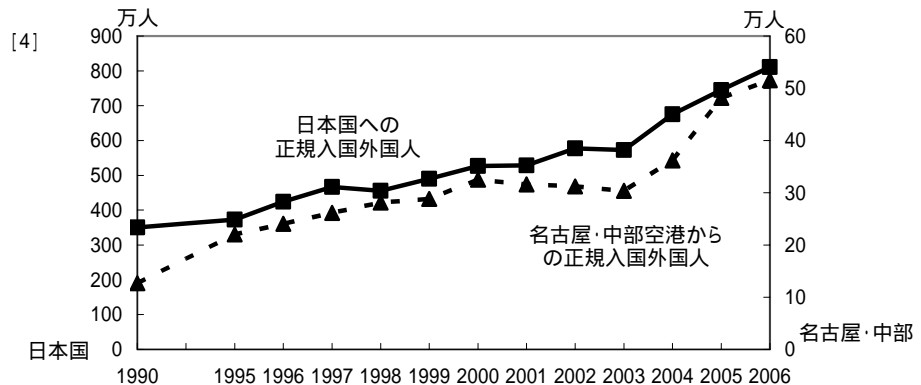
(備考) 各年末現在

(資料) 外務省領事局旅券課「旅券統計」

## [4] 名古屋・中部国際空港からの正規入国外国人、日本国への正規入国外国人の推移

	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
名古屋空港・中部国際空港からの正規入国外国人	126,832	220,380	240,506	261,439	281,162	288,403	324,923	316,223	312,237	303,961	361,952	481,646	515,603
日本国への正規入国外国人	3,504,470	3,732,450	4,244,529	4,669,514	4,556,845	4,901,317	5,272,095	5,286,310	5,771,975	5,727,240	6,756,830	7,450,103	8,107,963

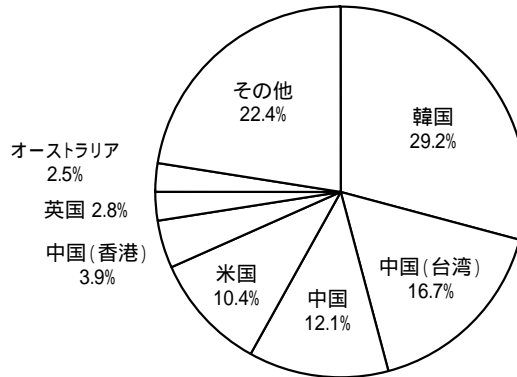
(備考)、(資料) [1]に同じ



[5] 国籍別正規入国外国人人数(2006年末現在)

国籍	入国者数	構成比
韓国	2,370,163	29.2
中国(台湾)	1,352,493	16.7
中国	980,424	12.1
米国	845,852	10.4
中国(香港)	318,517	3.9
英国	224,257	2.8
オーストラリア	199,251	2.5
フィリピン	195,113	2.4
カナダ	162,143	2.0
タイ	145,053	1.8
その他	1,314,697	16.2
合計	8,107,963	100.0%

[5]



(資料) [1]に同じ

[6] 名古屋・中部国際空港からの出国日本人数

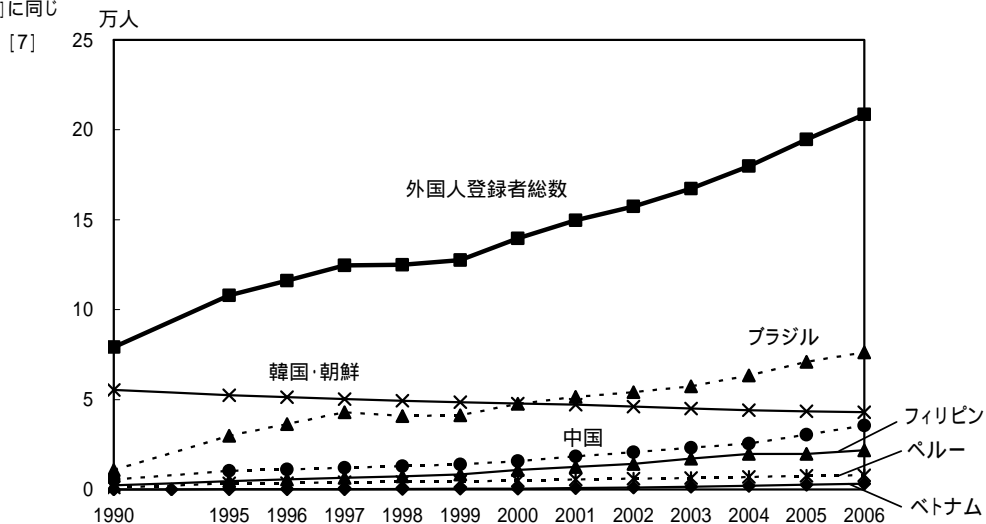
	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
名古屋・中部国際空港からの出国日本人数	1,449,562	1,544,157	1,581,663	1,527,384	1,573,524	1,727,759	1,658,578	1,587,470	1,204,427	1,614,880	1,643,975	1,925,890

(備考)、(資料) [1]に同じ

[7] 愛知県の外国人登録者数の推移

	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006(平成18年)	
	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	構成比
外国人登録者総数	79,161	107,931	116,094	124,675	124,919	127,537	139,540	149,612	157,377	167,270	179,742	194,648	208,514	100%
総人口に占める割合	1.2%	1.6%	1.7%	1.8%	1.8%	1.8%	2.0%	2.1%	2.2%	2.3%	2.5%	2.7%	2.9%	
ブラジル	10,764	29,787	36,392	42,917	40,873	41,241	47,561	51,546	54,081	57,336	63,335	71,004	76,297	36.6
韓国・朝鮮	55,403	52,407	51,369	50,180	49,264	48,570	47,788	47,206	46,134	45,006	44,135	43,434	42,922	20.6
中国	5,489	10,389	11,199	11,999	12,967	13,940	15,831	18,405	20,736	23,143	25,567	30,532	35,522	17.0
フィリピン	2,274	4,650	5,520	6,431	7,283	8,366	10,764	12,579	14,295	17,197	19,863	19,771	21,844	10.5
ペルー	1,028	3,366	3,582	4,040	4,218	4,488	5,017	5,604	5,957	6,384	6,987	7,532	7,957	3.8
ベトナム	61	84	159	219	342	394	521	735	1,065	1,584	1,955	2,640	3,273	1.6
その他	4,142	7,248	7,873	8,889	9,972	10,538	12,058	13,537	15,109	16,620	17,900	19,735	20,699	9.9

(備考)、(資料) [1]に同じ



[8]愛知県内の日系人の多い市(2006年末現在)

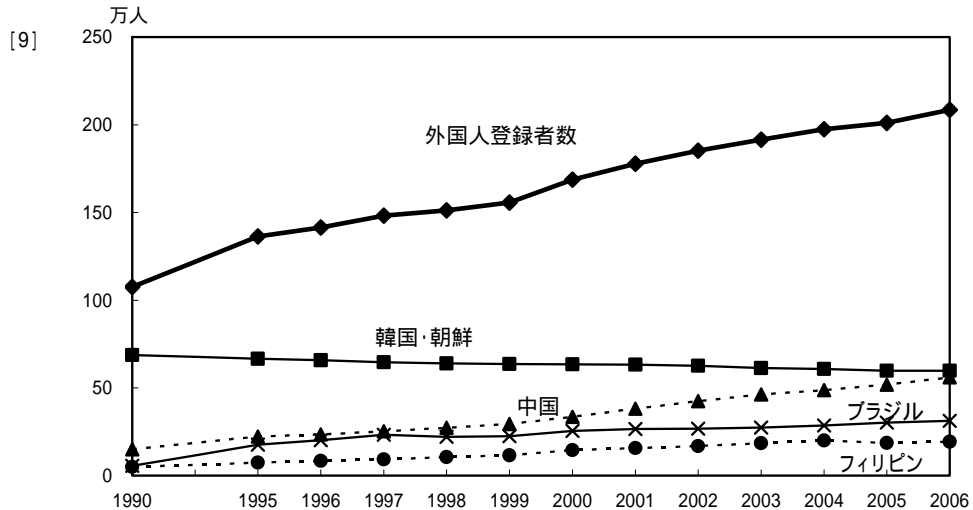
	1	2	3	4	5
ブラジル	豊橋市 12,553人	豊田市 7,743人	名古屋市 6,130人	岡崎市 5,641人	小牧市 4,727人
ペルー	豊橋市 1,013人	名古屋市 871人	小牧市 845人	豊田市 776人	豊川市 484人

(備考)、(資料)[1]に同じ

[9]全国の外国人登録者数の推移

	1990	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006(平成18年)	
	平成2年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	数	構成比
外国人登録者総数	1,075,317	1,362,371	1,415,136	1,482,707	1,512,116	1,556,113	1,686,444	1,778,462	1,851,758	1,915,030	1,973,747	2,011,555	2,084,919	100%
総人口に占める割合	0.9%	1.1%	1.1%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%	1.4%	1.5%	1.5%	1.6%	1.6%	1.6%	
韓国・朝鮮	687,940	666,376	657,196	645,373	638,828	636,548	635,269	632,405	625,422	613,791	607,419	598,687	598,219	28.7
中国	150,339	222,991	234,264	252,164	272,230	294,201	335,575	381,225	424,282	462,396	487,570	519,561	560,741	26.9
ブラジル	56,429	176,440	201,795	233,254	222,217	224,299	254,394	265,962	268,332	274,700	286,557	302,080	312,979	15.0
フィリピン	49,092	74,297	84,509	93,265	105,308	115,685	144,871	156,667	169,359	185,237	199,394	187,261	193,488	9.3
ペルー	10,279	36,269	37,099	40,394	41,317	42,773	46,171	50,052	51,772	53,649	55,750	57,728	58,721	2.8
米国	38,364	43,198	44,168	43,690	42,774	42,802	44,856	46,244	47,970	47,836	48,844	49,390	51,321	2.5
その他	82,874	142,800	156,105	174,567	189,442	199,805	225,308	245,907	264,621	277,421	288,213	296,848	309,450	14.8

(備考)、(資料)[1]に同じ



[10]都道府県別外国人登録者数(2006年末現在)

	東京都	大阪府	愛知県	神奈川県	埼玉県	兵庫県	千葉県	静岡県	岐阜県	京都府	その他	全国
外国人登録者総数	364,712	212,528	208,514	156,992	108,739	102,188	100,860	97,992	54,616	54,213	623,565	2,084,919
総人口に占める割合	2.9%	2.4%	2.9%	1.8%	1.5%	1.8%	1.7%	2.6%	2.6%	2.1%	1.0%	1.6%
韓国・朝鮮	108,052	140,123	42,922	34,227	19,009	57,549	18,218	6,701	6,169	35,007	130,242	598,219
中国	125,356	43,498	35,522	42,409	35,513	22,570	33,453	11,402	15,810	10,411	184,797	560,741
ブラジル	4,608	4,666	76,297	13,933	13,728	3,612	6,510	51,250	20,466	598	117,311	312,979
フィリピン	30,469	5,260	21,844	17,221	14,905	3,052	15,983	11,162	7,314	1,919	64,359	193,488
ペルー	2,379	1,178	7,957	8,679	4,589	926	3,568	6,373	1,112	168	21,792	58,721
米国	17,888	2,746	2,272	5,161	1,837	2,360	2,045	818	379	1,275	14,540	51,321
その他	75,960	15,057	21,700	35,362	19,158	12,119	21,083	10,286	3,366	4,835	90,524	309,450

(備考)、(資料)[1]に同じ

**[11] 愛知県内の外国人労働者雇用状況**

	1993 平成5年	1994 平成6年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
事業所数	909	1,322	1,300	1,366	1,540	1,619	1,532	1,575	1,627	1,741	1,904	2,014	2,251	2,396
直接雇用外国人労働者	11,681	11,203	14,494	15,394	17,909	16,816	16,837	15,796	17,126	18,606	22,142	24,077	25,436	27,607
うち日系人労働者	9,656	9,045	12,200	13,012	14,370	11,748	12,600	11,026	11,659	12,695	14,460	15,292	14,402	15,142
間接雇用外国人労働者	—	6,254	5,998	7,840	12,562	10,740	11,036	12,515	13,080	14,904	20,468	26,188	29,729	33,514

(備考) 各年6月1日現在

(資料) 厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課「外国人雇用状況報告」

**[12] 全国の外国人労働者雇用状況**

	1993 平成5年	1994 平成6年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
事業所数	11,624	14,277	14,663	15,757	17,859	19,204	19,483	19,794	20,746	21,450	23,142	24,678	28,017	30,488
直接雇用外国人労働者	96,528	93,775	97,755	103,044	113,961	114,753	115,038	120,484	130,440	141,285	157,247	179,966	198,380	222,929
うち日系人労働者	59,382	54,494	58,150	60,163	62,624	54,137	52,393	51,380	51,300	50,428	55,193	57,301	54,049	58,828
間接雇用外国人労働者	—	36,255	42,106	51,739	71,253	75,061	76,434	86,609	91,367	86,699	116,898	132,436	144,891	167,291

(備考)、(資料) [11]に同じ

**[13] 愛知県及び全国の帰国子女数の推移**

	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年	2007 平成19年
愛知県合計	523	712	664	728	733	690	752	670	788	842	811	784	826	934
小学校	299	433	404	476	455	434	426	403	457	505	497	498	468	598
中学校	148	145	149	162	173	157	202	153	193	186	196	171	224	209
高等学校	76	134	111	90	105	99	124	114	138	151	118	115	134	127
全国合計	12,032	13,009	12,997	12,602	12,962	12,884	12,240	10,919	10,826	10,778	10,295	10,100	10,368	10,308
小学校	7,147	7,945	7,886	7,631	7,965	7,808	7,249	6,358	6,487	6,389	6,231	5,992	6,042	6,015
中学校	3,164	3,012	3,126	3,121	3,009	3,061	2,991	2,652	2,510	2,460	2,192	2,235	2,383	2,514
高等学校	1,721	2,052	1,985	1,850	1,988	2,015	2,000	1,909	1,829	1,918	1,855	1,841	1,910	1,723
中等教育(前期)										11	17	28	25	47
中等教育(後期)												4	8	9

(備考) 各年5月1日現在

「帰国子女」とは、海外勤務者等の子女で、引続き1年を超える期間海外に在留し、前年度間に帰国した児童生徒をいう。

(資料) 文部科学省「学校基本調査」

**[14] 愛知県内大学の外国人留学生数の推移**

	1990 平成2年	1995 平成7年	2000 平成12年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年	2007 平成19年
外国人留学生数	1,915	2,870	3,367	5,643	5,972	6,014	5,905	5,774

(備考) 各年5月1日現在。専修学校専門課程の留学生を含む。

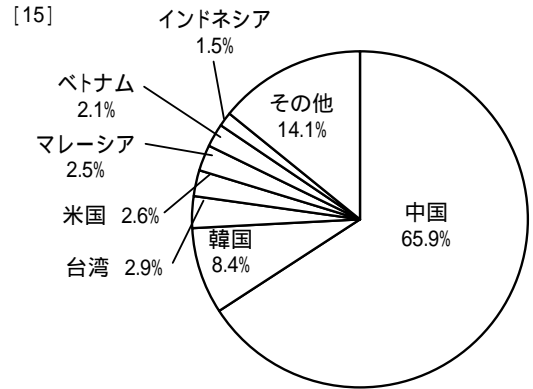
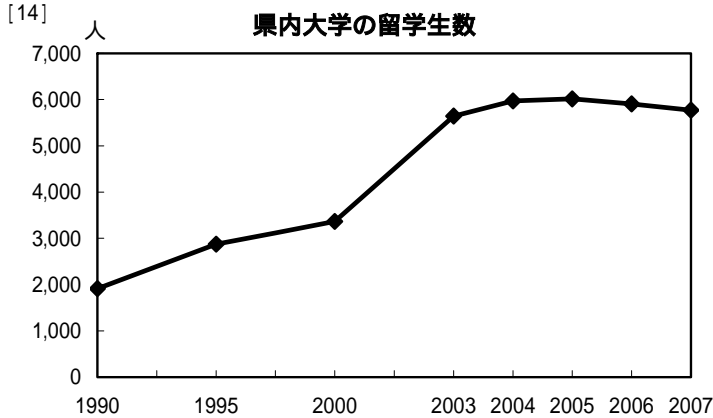
(資料) 独立行政法人日本学生支援機構調べ「留学生受入の概況」(平成15年度までの数値は文部科学省調べ)

[15] 愛知県内大学の出身国・地域別外国人留学生数(2007年5月1日現在)

	中国	韓国	台湾	米国	マレーシア	ベトナム	インドネシア	タイ	バングラデシュ	カンボジア	その他	合計
留学生数	3,564	452	158	141	134	114	83	78	54	51	580	5,409
構成比	65.9	8.4	2.9	2.6	2.5	2.1	1.5	1.4	1.0	0.9	10.7	100%

(備考) 各年5月1日現在。専修学校専門課程の留学生は含まない。

(資料) 愛知県留学生交流推進協議会調べ



[16] 愛知県内大学の大学別外国人留学生数(2007年5月1日現在)

	名古屋大学	愛知大学	愛知学院大学	名古屋産業大学	名城大学	中部大学	名古屋工業大学	南山大学	中京大学	豊橋技術科学大学	その他	合計
留学生数	1,155	442	399	356	293	267	264	262	195	178	1,598	5,409
構成比	21.4	8.2	7.4	6.6	5.4	4.9	4.9	4.8	3.6	3.3	29.5	100%

(備考)、(資料) [15] に同じ

[17] 全国の外国人留学生数の推移

	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年	2007 平成19年
外国人留学生総数	41,347	53,847	52,921	51,047	51,298	55,755	64,011	78,812	95,550	109,508	117,302	121,812	117,927	118,498
日本国費留学生数	4,961	7,371	8,051	8,250	8,323	8,774	8,930	9,173	9,009	9,745	9,804	9,891	9,869	10,020
外国政府派遣留学生数	1,026	1,231	1,297	1,524	1,585	1,542	1,441	1,369	1,517	1,627	1,906	1,903	1,956	2,181
私費留学生数	35,360	45,245	43,573	41,273	41,390	45,439	53,640	68,270	85,024	98,135	105,592	110,018	106,102	106,297

(備考)、(資料) は [14] に同じ

[18] 全国の出身国・地域別外国人留学生数(2007年5月1日現在)

	中国	韓国	台湾	ベトナム	マレーシア	タイ	米国	インドネシア	バングラデシュ	ネパール	その他	合計
留学生数	71,277	17,274	4,686	2,582	2,146	2,090	1,805	1,596	1,508	1,309	12,225	118,498
構成比	60.2	14.6	4.0	2.2	1.8	1.8	1.5	1.3	1.3	1.1	10.3	100%

(備考)、(資料) は [14] に同じ

[19] 全国の都道府県別外国人留学生数(2007年5月1日現在)

	東京都	大阪府	福岡県	愛知県	千葉県	埼玉県	京都府	兵庫県	神奈川県	大分県	その他	合計
留学生数	40,316	10,203	6,017	5,774	5,708	5,496	4,746	3,737	3,679	3,587	29,235	118,498
構成比	34.0	8.6	5.1	4.9	4.8	4.6	4.0	3.2	3.1	3.0	24.7	100%

(備考)、(資料) は [14] に同じ

## [20] 県内企業に就職する留学生数

	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
全国	2,689	3,581	3,209	3,778	5,264	5,878	8,272
愛知県	28	181	177	224	282	453	570
東京都	1,389	1,822	1,557	1,975	2,699	2,599	3,892
大阪府	296	366	393	403	579	669	919
神奈川県	166	215	145	175	227	258	353
福岡県	60	72	73	86	115	192	299
埼玉県	81	103	87	93	171	147	239

(備考)「留学」及び「就学」の在留資格を有する留学生等が本邦の企業等への就職を目的として在留資格変更許可申請を行ったうち、許可された件数  
各年末現在

(資料)法務省入国管理局調べ

## [21] 愛知県内主要機関による外国人研修員受入数の推移

	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
国際連合 地域開発センター	26	34	31	30	25	50	61	65	72	80	73	51	49
(独行)国際協力 機構中部 国際センター	247	406	429	482	537	585	535	487	446	470	542	461	448
(財)海外技術者 研修協会 中部研修センター	301	347	393	581	1,015	1,000	1,020	728	766	844	775	550	760
(財)オイスカ中部 日本研修センター	50	54	78	85	67	65	56	47	60	21	26	50	56
(財)アジア保健 研修財団 アジア保健研修所	19	35	40	13	13	15	15	16	15	13	16	15	14
愛知県	8	9	9	9	8	6	6	6	6	6	3	0	0
名古屋市	4	14	5	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0
名古屋港 管理組合	4	7	4	4	4	4	8	8	4	4	3	4	4
合 計	659	906	989	1,208	1,673	1,729	1,705	1,361	1,373	1,442	1,438	1,131	1,331

(備考)アジア保健研修所の実績は日本国内分のみ。

(資料)愛知県地域振興部国際課調べ

## [22] 愛知県内企業の地域別・業態別拠点数(2006年末現在)

	現地法人		支店・ 事務所	拠点合計	
		うち工場		数	構成比
アジア	1,455	949	190	1,645	62.0
中国	696	503	76	772	29.1
香港	81	13	21	102	3.8
タイ	220	150	16	236	8.9
その他 アジア	458	283	77	535	20.2
北米	430	198	39	469	17.7
アメリカ	398	182	35	433	16.3
ヨーロッパ	315	83	45	360	13.6
その他	157	64	20	177	6.7
合 計	2,357	1,294	294	2,651	100%

(資料)産業労働部産業立地通商課「2006年における愛知県内企業の海外事業活動」

[23] 愛知県内貿易港の輸出入額の推移

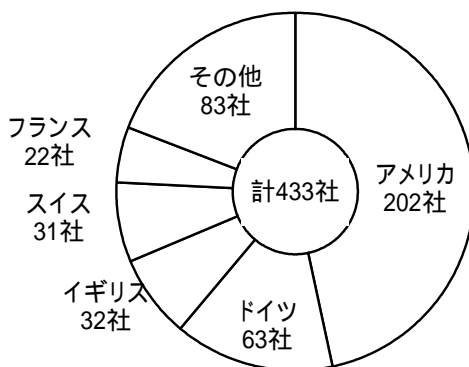
	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年
輸出額合計	6,251,737	6,616,810	7,181,048	8,417,020	8,801,731	8,089,261	8,521,201	8,955,967	9,677,792	9,877,216	10,693,267	12,220,621	14,950,426
名古屋港	4,802,624	5,662,973	6,051,565	6,740,929	6,629,365	5,965,640	6,431,866	6,547,631	6,997,829	7,440,271	8,192,858	8,729,761	10,299,136
衣浦港	53,485	47,713	57,079	71,915	80,884	62,933	62,416	98,500	89,754	73,102	95,959	134,588	182,699
三河港	1,367,711	808,996	965,286	1,453,631	1,932,180	1,902,410	1,876,952	2,158,863	2,442,804	2,219,148	2,239,193	2,545,974	3,325,135
名古屋空港 / 中部国際空港	27,917	97,128	107,118	150,545	159,302	158,278	149,967	150,973	147,405	144,695	165,257	810,298	1,143,456
輸入額合計	2,588,582	2,774,503	3,241,860	3,496,302	3,219,641	3,105,730	3,418,533	3,604,539	3,742,714	3,937,366	4,364,364	5,057,779	6,249,050
名古屋港	2,277,068	2,069,006	2,385,305	2,632,091	2,445,128	2,300,630	2,487,285	2,614,497	2,633,582	2,810,988	3,037,885	3,608,774	4,568,594
衣浦港	89,060	87,548	106,519	110,291	97,855	75,933	84,602	103,421	104,457	111,302	150,724	172,962	191,058
三河港	141,353	367,619	422,889	406,250	322,730	293,380	376,042	373,528	383,653	401,621	486,521	480,354	547,179
名古屋空港 / 中部国際空港	81,101	250,330	327,147	347,670	353,928	435,787	470,604	513,093	621,022	613,455	689,234	795,689	942,219

(備考) 各年末現在。単位百万円。

(資料) 産業労働部産業立地通商課「愛知県内貿易港の輸出入動向」  
平成18年の額は、名古屋税関「管内貿易概況」

[24] 愛知県へ進出している外資系企業の国別拠点数(2007年7月現在)

	拠点数
アメリカ	202
ドイツ	63
イギリス	32
スイス	31
フランス	22
その他	83
合計	433



(資料) 愛知・名古屋国際ビジネスサポートセンター調べ

[25] 都市別国際会議開催件数の推移

	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006(平成18年)		
											参加者 総数	外国人 参加者数	
名古屋	180	196	194	195	200	194(15)	167(10)	193(11)	193(15)	236(15)	194(17)	68,799	5,347
札幌	76	84	95	112	107	96(6)	71(12)	87(8)	92(14)	99(8)	127(5)	39,862	2,771
東京 (23区)	343	344	436	603	705	759(59)	793(61)	715(53)	733(71)	742(64)	744(71)	256,603	26,358
横浜	80	100	121	107	96	105(18)	130(32)	148(30)	156(37)	159(42)	162(43)	103,471	10,343
京都	169	195	198	181	190	192(21)	209(34)	222(18)	224(32)	224(27)	277(38)	96,133	16,779
大阪	171	197	224	222	224	230(28)	192(32)	148(29)	254(23)	249(17)	237(20)	82,294	7,537
神戸	161	170	213	178	195	207(15)	205(15)	168(17)	172(14)	177(17)	183(15)	41,645	5,458
福岡	161	188	191	199	163	147(13)	150(12)	160(18)	178(16)	180(19)	274(24)	88,887	10,489
全国合計	1,971	2,163	2,415	2,475	2,689	2,737(253)	2,683(280)	2,554(253)	2,896(325)	2,859(284)	3,005(316)	1,105,066	115,254

(備考) 各年末現在

カッコ内は「中・大型国際コンベンション」で内数。  
総参加者数300名以上かつ外国人参加者数が50名以上のものを「中・大型国際コンベンション」とする。  
2006年の外国人参加者数は、参加者総数の内数

(資料) 独立行政法人国際観光振興機構「コンベンション統計」

**[26] 旧名古屋空港及び中部国際空港の国際定期航空路線の推移**

	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年	2007 平成19年
地点数	15	34	30	31	34	33	32	32	31	30	29	31	31	32
便数/週	97	180	178	185	214	192	195	227	210	184	213	313	324	351

(備考) 平成16年までは旧名古屋空港分で各年7月現在。平成17年以降は中部国際空港分で夏ダイヤの合計便数のピーク時。

(資料) 平成16年までは名古屋空港協議会「NAGOYA空港ハンドブック」、平成17年以降は中部国際空港発表「中部国際空港 国際線の就航路線と便数」

**[27] JETプログラムによる外国青年招致数の推移**

年 度	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年	2007 平成19年
愛知県計	45	46	50	52	52	51	51	51	51	51	51	51	51
国際交流員	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
外国語指導助手	43	44	48	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
名古屋市計	33	33	33	33	33	33	33	33	28	28	28	19	9
国際交流員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
外国語指導助手	32	32	32	32	32	32	32	32	27	27	27	18	8
その他市町村計	40	43	43	48	48	45	39	36	30	24	19	15	12
国際交流員	4	5	5	6	7	7	7	8	8	8	8	7	7
外国語指導助手	36	38	38	42	41	38	32	28	22	16	11	8	5
愛知県内合計	118	122	126	133	133	129	123	120	109	103	98	85	72
国際交流員	7	8	8	9	10	9	9	10	10	10	10	9	9
外国語指導助手	111	114	118	124	123	120	114	110	99	93	88	76	63
全国合計	4,618	5,023	5,351	5,687	5,847	6,078	6,190	6,273	6,226	6,103	5,853	5,508	5,119
国際交流員 (含むスポーツ 国際交流員)	375	449	520	591	594	611	607	597	577	536	491	451	412
外国語指導助手	4,243	4,574	4,831	5,096	5,253	5,467	5,583	5,676	5,649	5,567	5,362	5,057	4,707

(備考) 各年度は8月から翌年7月まで

(資料) 財団法人自治体国際化協会調べ

[28] 愛知県内の外国公館一覧

平成20年2月01日現在

No.	国名	職名	代表者	就任	所在地	電話	開設
1	在名古屋大韓民国総領事館	総領事	李 泰雨 リ・テウ	H 19. 9	中村区名駅南1-19-12	586-9221	S 41. 5
2	在名古屋ブラジル連邦共和国総領事館	総領事	ジェラルド・アフォンソ・ムジ	H 18. 5	中区丸の内1-10-29 白川第8ビル 2F	222-1077	H 5.10
3	在名古屋中国総領事館	総領事	李 天然	H 18. 9	名古屋市東区東桜2-8-37	932-1098	H 17.10
4	在名古屋ペルー共和国総領事館	総領事	エドゥアルド・ゴメスサン チェス・グッティ(兼任)	H 20. 1	名古屋市中区栄2-2-23 スワン名古屋伏見ビル3F	209-7851	H19.11
5	在名古屋米国領事館	領 事	ダニエル・ロッチマン	H 17. 7	中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル 6F	581-4501	S 61. 3
6	在名古屋 オーストラリア領事館	領 事	クリストファー・ウッド	H 19.10	中区栄1-3-3 AMMNATビル 13F	211-0630	H 4. 9
7	在名古屋カナダ領事館	領 事	アラン・エドワーズ	H 19. 8	中区丸の内3-17-6 ナカトウ丸の内ビル 6F	972-0450	H 4.11
8	韓国貿易センター (KOTRA)	館 長	鄭 熾 チョン・ヒョック	H 18. 9	中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル内	561-3936	S 62.10
9	フランス大使館 対仏投資部名古屋支部	担当官	クーロン・和子		中村区名駅3-16-22 名古屋ダイヤビル1号館 6F	582-0559	H 14.1
10	韓国観光公社 名古屋支社	支社長	鄭 然洙 チョン・ヨンス	H 18. 7	中区錦2-18-19 三井住友銀行名古屋ビル内	223-3211	H 7. 8
11	名古屋アメリカン・センター	館 長 (領事)	ジョナス・スチュワート	H 19. 7	中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル内	581-8631	S 47. 4
12	アリアンス・フランセーズ 愛知フランス協会	館 長	ブノワ・オリビエ	H 17. 9	千種区四谷通2-13 ルーツ・ストーンビル B・H 3F	781-2822	S 54.12
13	VCA日本事務所 (英国運輸省)	理事	マイケル・アルバニー	H 7. 11	名古屋市中区正木4-8-12 ブラウザ金山601	683-8831	H 7.11
14	米国ウエストバージニア州 日本代表事務所	駐日 代 表	(空席)		中区錦3-24-17 日本生命栄ビル 7F	953-9798	H 2. 4
15	中国江蘇省国際交流 センター駐日連絡事務所	所 長	王 延 洲	H 18. 6	中村区那古野1-41-2 ベルピラ那古野2F 202	586-5669	H 5. 4
16	国際連合地域開発 センター (UNCRD)	所 長	小野川 和延	H 14. 7	中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル内	561-9377	S 46.10
計16館							

[29] 愛知県及び県内市町村の友好(姉妹)提携の状況

	提携先	国	提携年月日
愛知県	ビクトリア州	オーストラリア	1980. 5. 2
	江蘇省	中国	1980. 7. 28
名古屋市	ロサンゼルス	米国 (カリフォルニア州)	1959. 4. 1
	メキシコ・シティ	メキシコ	1978. 2. 16
	南京	中国 (江蘇省)	1978. 12. 21
	シドニー	オーストラリア (ニュー・サウス・ウェールズ州)	1980. 9. 16
	トリノ	イタリア (ピエモンテ州)	2005. 5. 27
豊橋市	南通[なんつう]	中国 (江蘇省)	1987. 5. 26
	トリード	米国 (オハイオ州)	2000. 4. 29
岡崎市	ウッデバラ	スウェーデン (ヴェストラ・イエータランド県)	1968. 9. 17
	ニューポート・ビーチ	米国 (カリフォルニア州)	1984. 11. 27
	呼和浩特 [フフホト]	中国 (内蒙古自治区)	1987. 8. 10
瀬戸市	景德鎮 [けいとくちん]	中国 (江西省)	1996. 10. 11
	リモージュ	フランス (オート・プェヌヌ県)	2003. 11. 18
	ナブル	チュニジア (ナブル県)	2004. 4. 21
	利川 [イチョン]	大韓民国 (京畿道)	2006. 4. 20
半田市	ミッドランド	米国 (ミシガン州)	1981. 6. 5
	ポート・マッコリー	オーストラリア (ニュー・サウス・ウェールズ州)	1990. 4. 14
	徐州 [じょしゅう]	中国 (江蘇省)	1993. 5. 27
春日井市	ケローナ	カナダ (ブリティッシュ・コロンビア州)	1981. 2. 5
豊川市	キューパティノ	米国 (カリフォルニア州)	1978. 12. 19
津島市	ハーキュリーズ	米国 (カリフォルニア州)	1981. 11. 5
碧南市	エドモンズ	米国 (ワシントン州)	1988. 4. 5
	ブーラ	クロアチア	2007. 4. 5
刈谷市	ミササガ	カナダ (オンタリオ州)	1981. 7. 7
豊田市	デトロイト	米国 (ミシガン州)	1960. 9. 21
	ダービーシャー県等	英国	1998. 11. 16
安城市	ハンチントン・ビーチ	米国 (カリフォルニア州)	1982. 7. 4
	ホブソンズ・ベイ	オーストラリア (ビクトリア州)	1988. 10. 17
	コリング	デンマーク (バイル州)	1997. 4. 24
西尾市	ポリリア	ニュー・ジーランド	1993. 12. 15
犬山市	襄樊 [じょうはん]	中国 (湖北省)	1983. 3. 13
	ザンクト・ゴアルスハウゼン	ドイツ (ラインラント・プファルツ州)	1992. 6. 1
	デービス	米国 (カリフォルニア州)	2001. 2. 3
小牧市	ワイアンドット	米国 (ミシガン州)	1963. 3. 22
稲沢市	オリンピア	ギリシャ (イリヤ県)	1987. 8. 22
	赤峰 [せきほう]	中国 (内蒙古自治区)	1989. 5. 16
新城市	ニュー・キャッスル	米国 (ペンシルバニア州)	1998. 11. 12
東海市	ブルサ市ニルフェル区	トルコ	2007. 5. 11
大府市	ポート・フィリップ	オーストラリア (ビクトリア州)	1993. 11. 20
知立市	ウィンダム	オーストラリア (ビクトリア州)	2000. 2. 10
日進市	オーエンズボロ	米国 (オハイオ州)	2007. 4. 4
豊明市	シェパートン	オーストラリア (ビクトリア州)	2003. 10. 22
田原市	ジョージタウン	米国 (ケンタッキー州)	1990. 4. 20
	プリンストン市及びギブソン郡	米国 (インディアナ州)	2002. 8. 8
	昆山 [こんざん]	中国 (江蘇省)	1993. 5. 14
	銅雀 [トンジャク]	韓国 (ソウル特別市)	2006. 11. 14
清須市	ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ	スペイン (アンダルシア地方)	1994. 1. 19
長久手町	ワテルロー	ベルギー (ブラバンワロン州)	1992. 10. 8
飛鳥村	リオビスタ	米国 (カリフォルニア州)	2007. 4. 6
三好町	コロンバス	米国 (インディアナ州)	1995. 2. 16
1県27市町	51提携 (県2、市町49)		

## 2 「愛知県の国際化に関する県民意識調査」の概要

### 調査の実施概要

#### (1) 日本人県民意識調査

##### 調査期間

平成 19 年 6 月 30 日～7 月 30 日

##### 調査方法

郵送配布 - 郵送回収

##### 対象者

愛知県内に在住する日本人 4,000 人

##### サンプリング方法

住民基本台帳により無作為抽出

##### 有効回答率

1,094 人(回収率 27.4%)

#### (2) 外国人県民意識調査

##### 調査期間

平成 19 年 7 月 11 日～7 月 30 日

##### 調査方法

郵送配布 - 郵送回収

調査票は日本語の他外国語 1ヶ国語の 2 言語を使用

##### 対象者

愛知県内の外国人登録者の多い 10 市に在住する外国人 2,000 人

##### サンプリング方法

外国人登録者の中から無作為抽出

##### 有効回答率

489 人(回収率 24.5%)

##### 回答者の国籍

27 か国

## 「愛知県の国際化に関する県民意識調査」の調査結果概要

### 1 国際化が進んでいる点、遅れている点(日本人、外国人双方への質問)

「国際会議場などの施設の整備」や「海外へのアクセス」といった中部国際空港開港の効果が表れていると思われる項目が、日本人、外国人ともに上位になっている。

「外国語表記が多く、外国人は住みやすい」点については、日本人、外国人共に遅れていることあげているが、外国人においては、「進んでいる」(25.8%)と「遅れている」(28.6%)はほぼ同じ率である。また海外での知名度については、日本人では「遅れている」が「進んでいる」を大きく上回っているが、外国人においては、「進んでいる」(24.3%)が「遅れている」(19.2%)を上回っている。これらの点では、この地域の国際化の進展について、外国人は日本人自身より高い評価を与えている。

他方、外国の情報については、日本人では進んでいる、遅れているがほぼ同率だが、外国人では遅れているとする意見のほうが多い。

### 2 愛知の魅力(日本人、外国人双方への質問)

日本人、外国人ともに「トヨタなど世界的企業の立地」が突出しており、その他「暮らしやすい」など、回答の傾向はほぼ同様である。

差異としては、「治安の良さ」は、外国人は28.0%で、日本人の16.9%を大きく上回っている。他方「ユニークな食文化」は、日本人の15.3%に対し外国人は4.7%にとどまっている。

### 3 国際化の推進施策(日本人のみへの質問)

重点を置くべき施策としては「世界に通用する人材の育成」が28.7%で最も多く、次いで、「愛知の魅力づくりとその発信」が19.6%となっており、長期的な展望にたった取組みが重要であると考えていることがうかがえる。

### 4 外国人の増加(日本人のみへの質問)

外国人の増加は「治安の悪化」を始め「習慣や文化の違いからのトラブル」など否定的な回答の合計が47.3%で、「望ましい」という肯定的な回答の合計29.4%を上回っている。

他方、外国人の子供たちが学校に増えることについては、「子供たちに多様性を理解させるよい機会」を始め肯定的意見が84.5%を占め、「外国人の子供たちに余計な出費がかかる」などの否定的な意見を大きく上回っている。

これをみると、外国人増加に対する現状について、課題が多いことを認めつつ、子供世代への好影響についての期待の大きさがうかがえる。

#### 5 「多文化共生」という言葉の認知度(日本人のみへの質問)

多文化共生の認知度は「ある」が39.7%、「ない」が57.2%で、平成14年度に実施した調査の「ある」29.4%から10.3ポイント増加しており、多文化共生がより身近な事柄になっていることがうかがえる。

#### 6 多文化共生への行政の取組(日本人のみへの質問)

多文化共生への行政の取組については「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」が35.3%で最も多い。次いで、「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」が19.7%となっており、この2項目で半数を超えている。まずは、日本での基本的な生活に馴染むための取組を求める意見が多い。

#### 7 県と母国との交流(外国人のみへの質問)

県と母国との交流については「両国民の自由な往来(居住や労働など)」が23.0%で最も多くなっている。次いで「学校を通じた子供たちの交流」が18.2%、「企業の進出、物の輸出入などの経済交流」が15.7%であり、幅広い分野の回答となっている。

#### 8 その他

##### (1) 外国人<日本人>とのトラブル等(日本人、外国人双方への質問)

日本人で「自分が体験した」という回答は6.6%、「全く知らない」は28.2%となっている。他方外国人では、「自分が体験した」という回答は14.3%、「全く知らない」は43.9%となっている。

なお、外国人に対する「日常生活で困ったこと」についての質問の回答では、「特にない」が64.9%で突出している。

##### (2) 外国人の家族構成・滞在期間(外国人のみへの質問)

家族構成は、単身者が9.0%で、2人、3人、4人はそれぞれ20%程度で並んでいる。この傾向は国籍を問わずほぼ同様で、家族滞在が圧倒的に多いことがわかる。

滞在期間については、全体では「10年以上20年未満」が最も多く(29.6%)、前回調査時から9.3ポイント増加している。特に中南米外国人については、前回調査と比較し5年以上10年未満が13.8ポイント減少して27.8%、「10年以上20年未満」が18.6ポイント上昇して50.3%となっており、長期滞在化が明確になっている。

(1)国際化が進んだ点

設問 万博の開催や中部国際空港の開港によって、国際化がどの点で進んだと思いますか。  
(複数回答)

<日本人県民>

国際化が進んだ点は「国際空港や国際会議場などの施設が整備されている」が49.0%で最も多い。

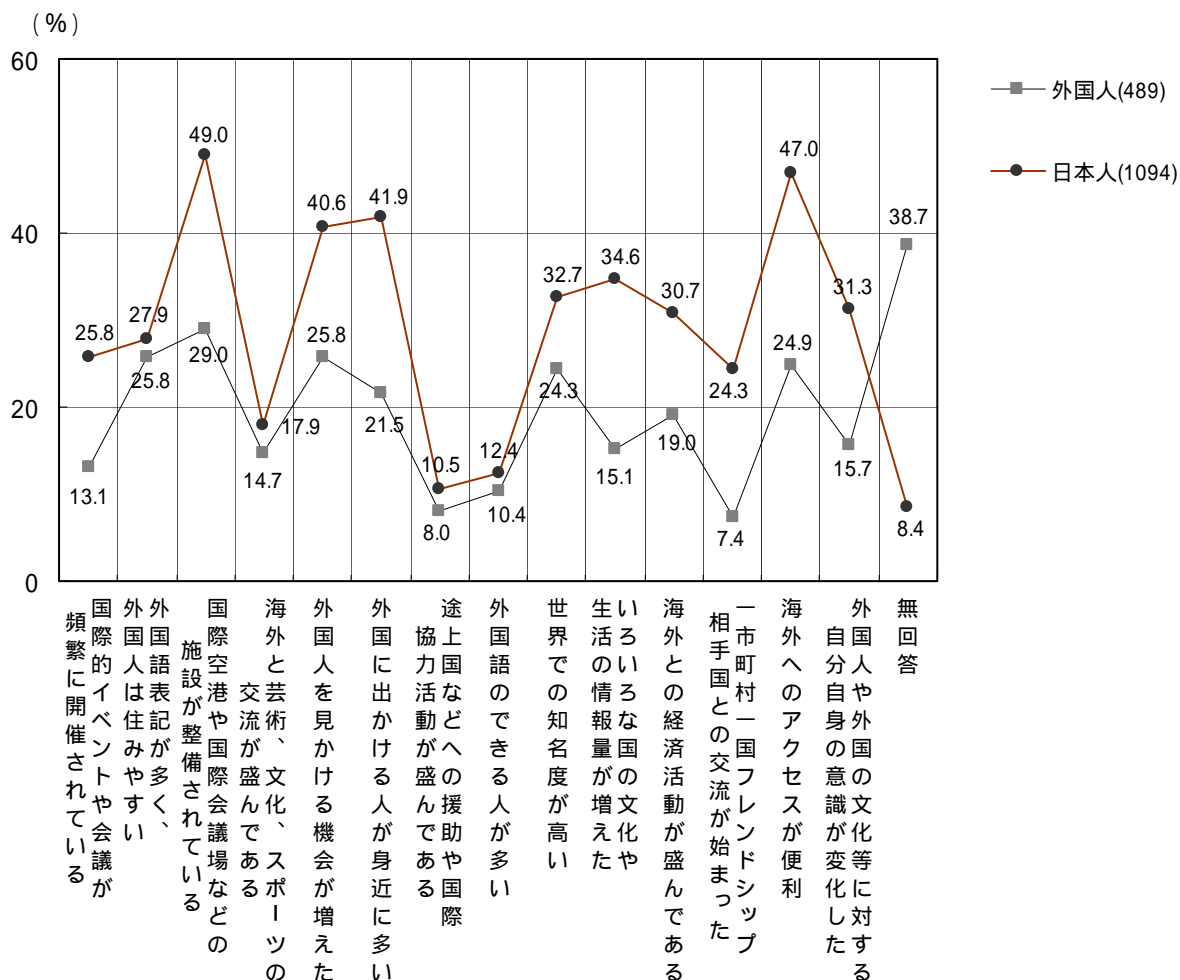
次いで、「海外へのアクセスが便利」が47.0%、「外国に出かける人が身近に多い」が41.9%となっている。

中部国際空港開港の効果が表れていると思われる項目が上位を占めている。

<外国人県民>

回答の傾向は概ね日本人県民と似ており、「国際空港や国際会議場などの施設が整備されている」が29.0%で最も多い。

次いで「街中の案内標識などの外国語表記が多く外国人が住みやすい街である」と「街中で外国人を見かける」が25.8%となっており、中部国際空港の整備のみでなく、ソフト面についても、一定の進展を感じている結果となった。



## (2)国際化で遅れていること

設問 愛知県の「国際化」で、遅れていることは何だと思いますか。(複数回答)

### <日本人県民>

国際化で遅れていることについては「外国語表記が多く、外国人は住みやすい」が52.8%で最も多い。

次いで、「海外と芸術、文化、スポーツの交流が盛んである」が49.5%、「世界での知名度が高い」が49.3%となっている。

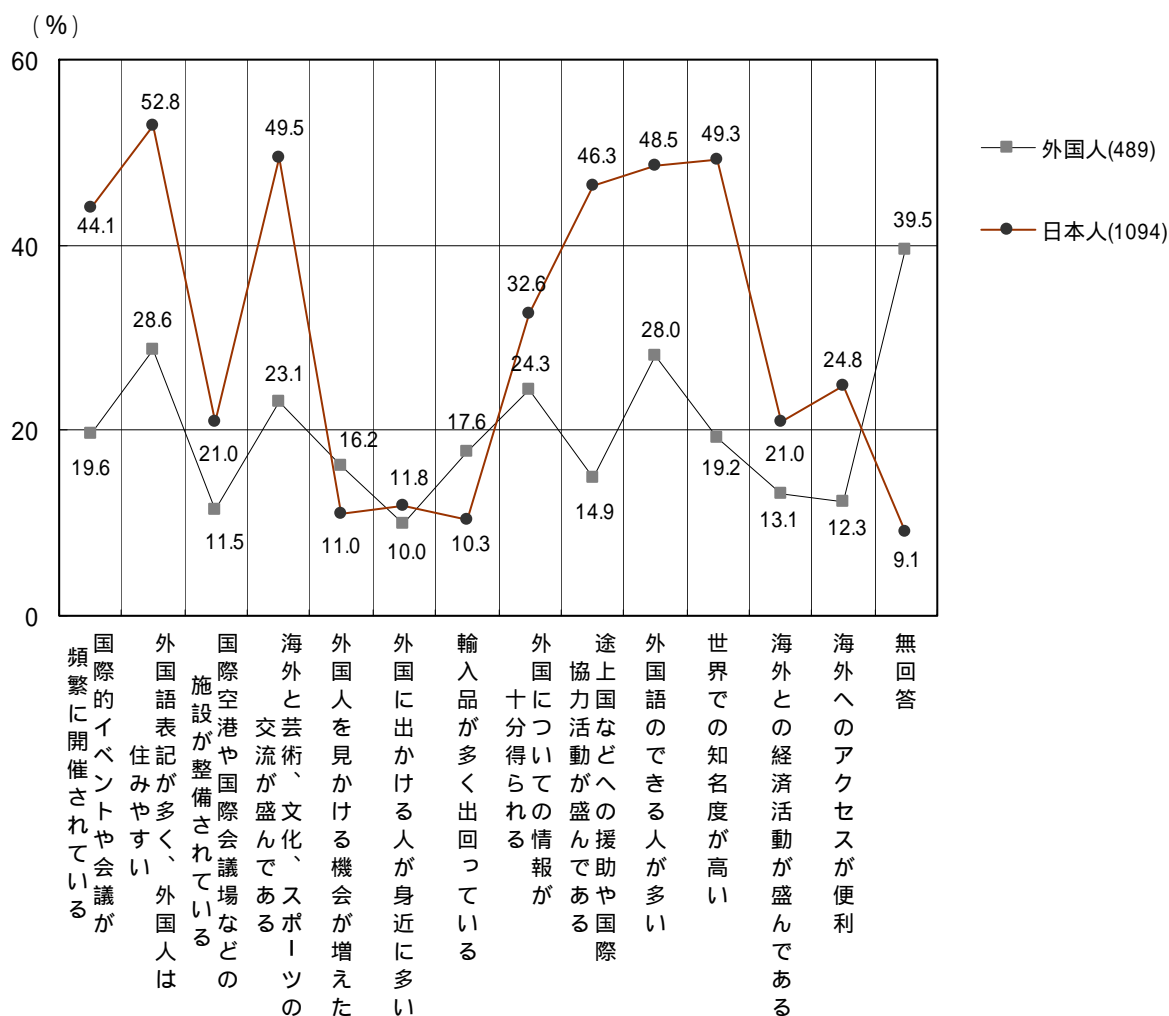
外国語標記や国際交流、世界での知名度などソフト的な項目が上位となっている。

### <外国人県民>

回答の傾向は概ね日本人県民と似ており、「外国語表記が多く外国人が住みやすい」が28.6%で最も多い。

次いで「外国語のできる日本人が多い」が28.0%、「テレビなどで外国についての情報を十分に得ることができる」が24.3%となっている。

外国人県民が生活する中で、情報を得るのに直接関連する項目が上位となっている。



### (3) 愛知の魅力

設問 世界に通用する「愛知の魅力」とは何だと思いますか。(複数回答)

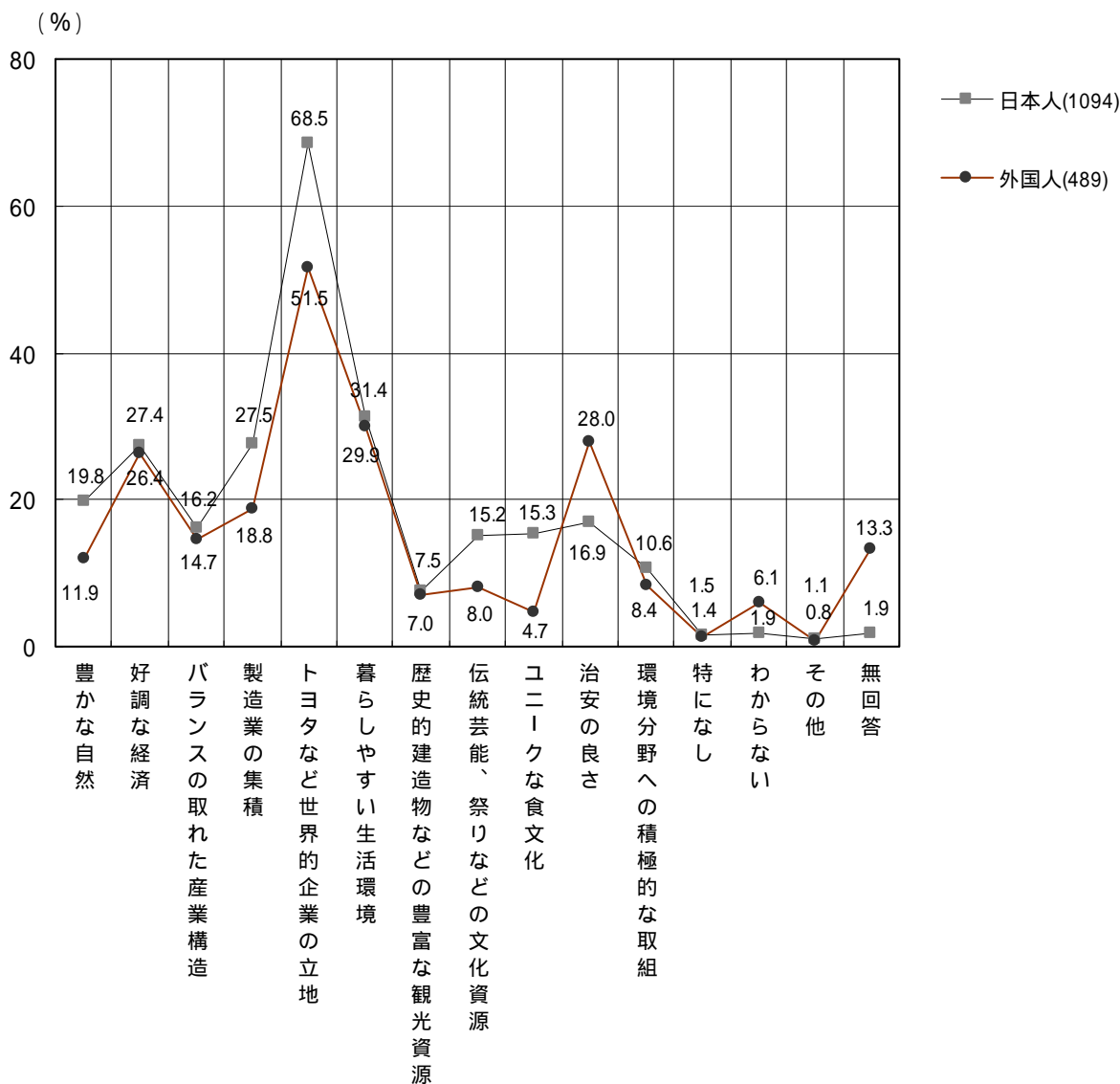
#### <日本人県民>

愛知の魅力は「トヨタなど世界的企業の立地」が68.5%で突出しており、多くの人がグローバル企業の存在を世界にアピールできる魅力と感じていると思われる。

以下は、「暮らしやすい生活環境」が31.4%、「製造業の集積」が27.5%となっている。

#### <外国人県民>

外国人県民においても「トヨタなど世界的企業の立地」が51.5%と突出しているなど、回答の傾向に大きな違いはない。その中でも、「治安の良さ」については日本人県民が16.9%なのに対して外国人県民は28.0%と2倍以上となっている。一方、日本人県民で15.3%ある「ユニークな食文化」が外国人県民では4.7%にとどまっている。



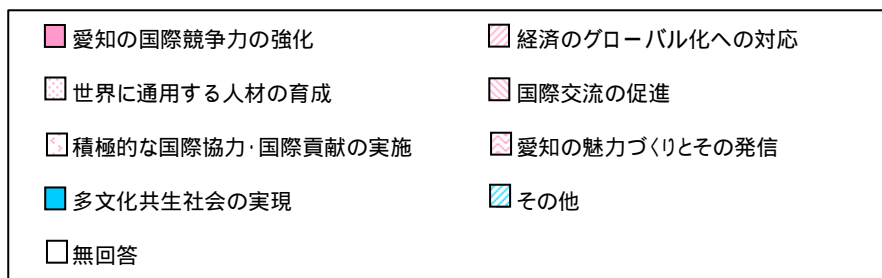
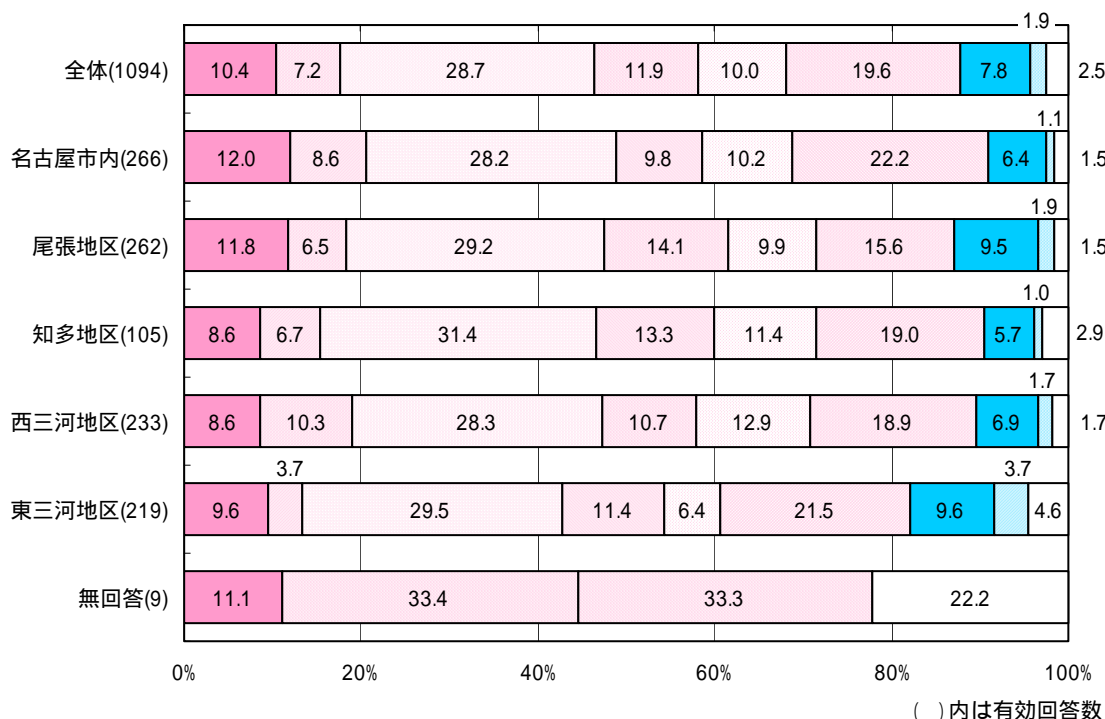
#### (4) 国際化の一層の進展

設問 万博や空港をきっかけに進んだ本県の国際化を、今後さらに進展させるにはどの施策に最も重点を置いて実施すべきだと思いますか。(日本人県民のみ)

国際化の一層の進展は「世界に通用する人材の育成」が 28.7%で最も多く、次いで、「愛知の魅力づくりとその発信」が 19.6%となっており、時間をかけた地道な取り組みが重要であると考えていることがうかがえる。

なお、居住地区別には、いずれの地区も第1位、第2位の回答は同じであり、差異はみられない。

国際化の一層の進展



## (5)外国人の増加

設問 本県に在住している外国人は現在約20万人で、毎年増加しています。地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。(日本人県民のみ)

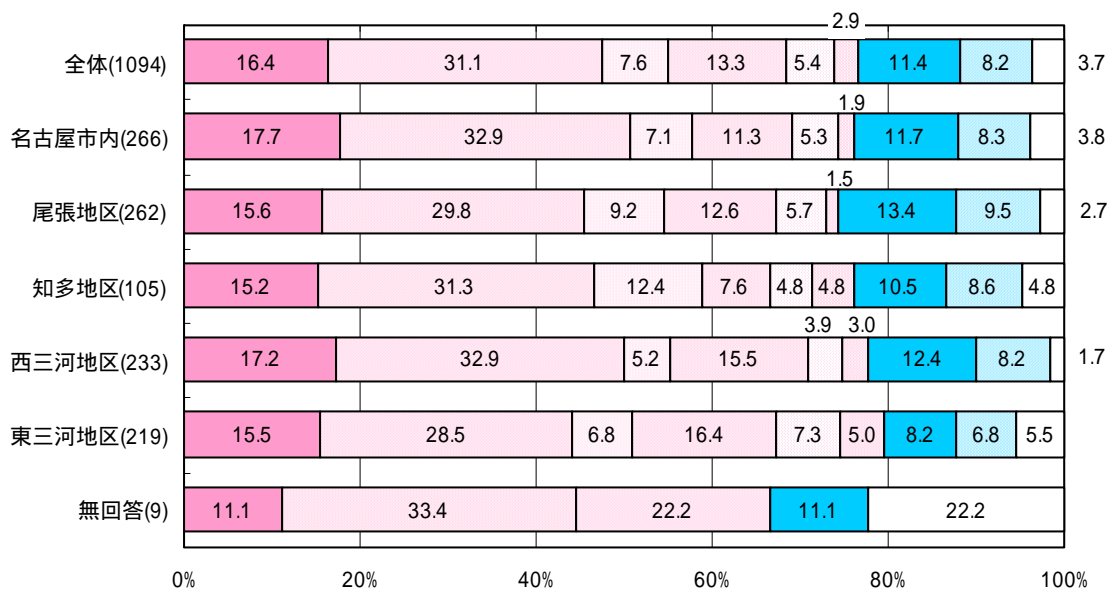
外国人の増加は「治安が悪化する可能性があり、望ましくない」が31.1%で最も多い。

次いで、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるので、望ましい」が16.4%、「習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので、望ましくない」が13.3%となっている。

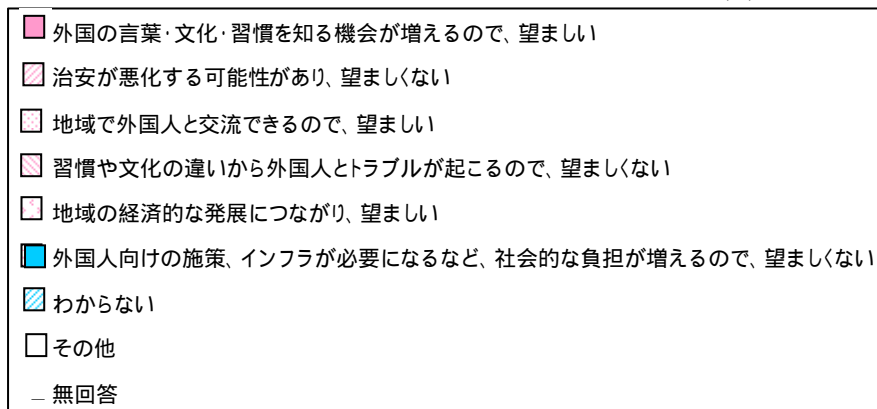
望ましくないという否定的な回答の合計が47.3%で、望ましいという肯定的な回答の合計29.4%を上回っており、負の側面を感じている人が多い。

なお、居住地区別に大差は見られなかった。

外国人の増加



( )内は有効回答数

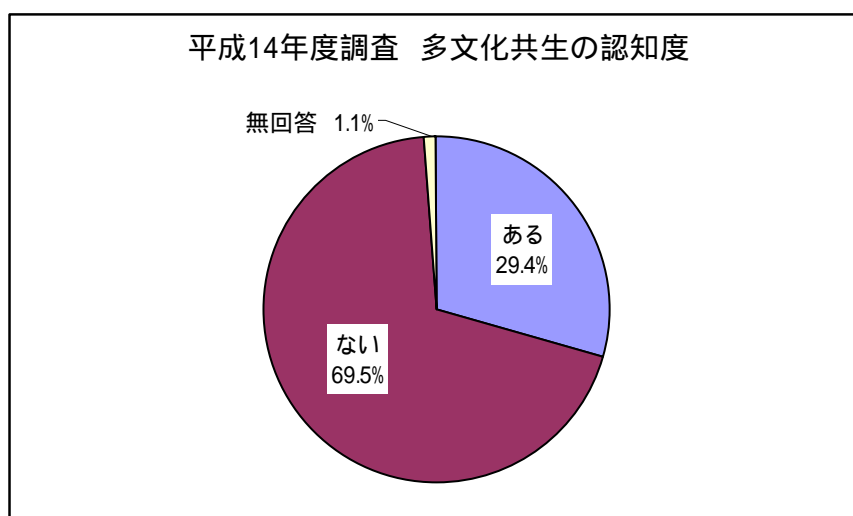
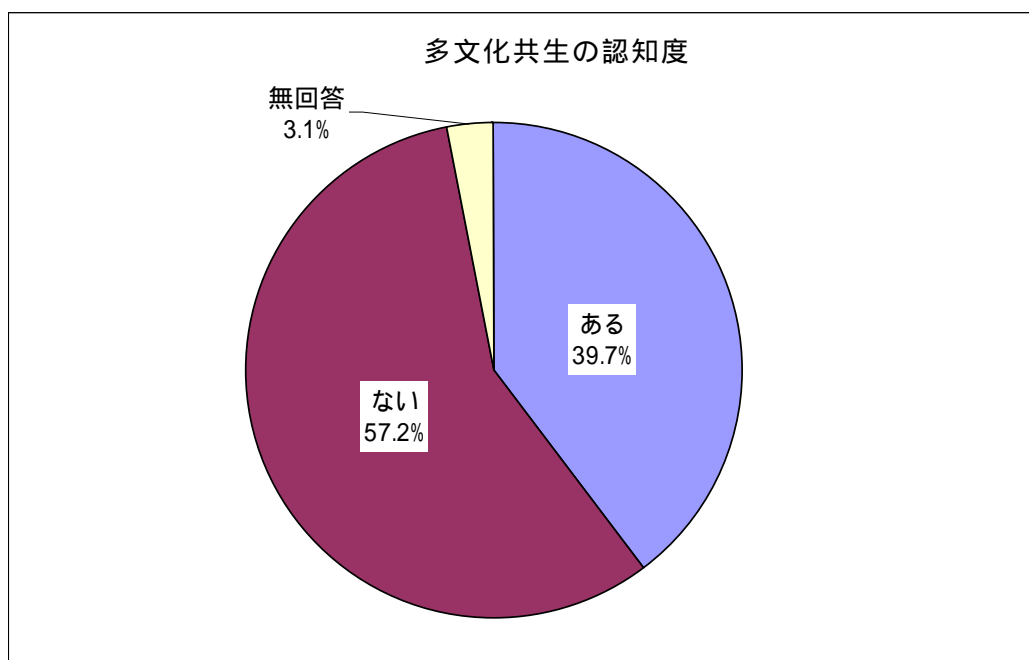


## (6) 多文化共生の認知度

設問 あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(日本人県民のみ)

多文化共生の認知度は「ある」が 39.7%、「ない」が 57.2%となっている。

平成 14 年度に実施した調査の「ある」29.4%から 10.3 ポイント増加しており、多文化共生がより身近な事柄になっていることがうかがえる。

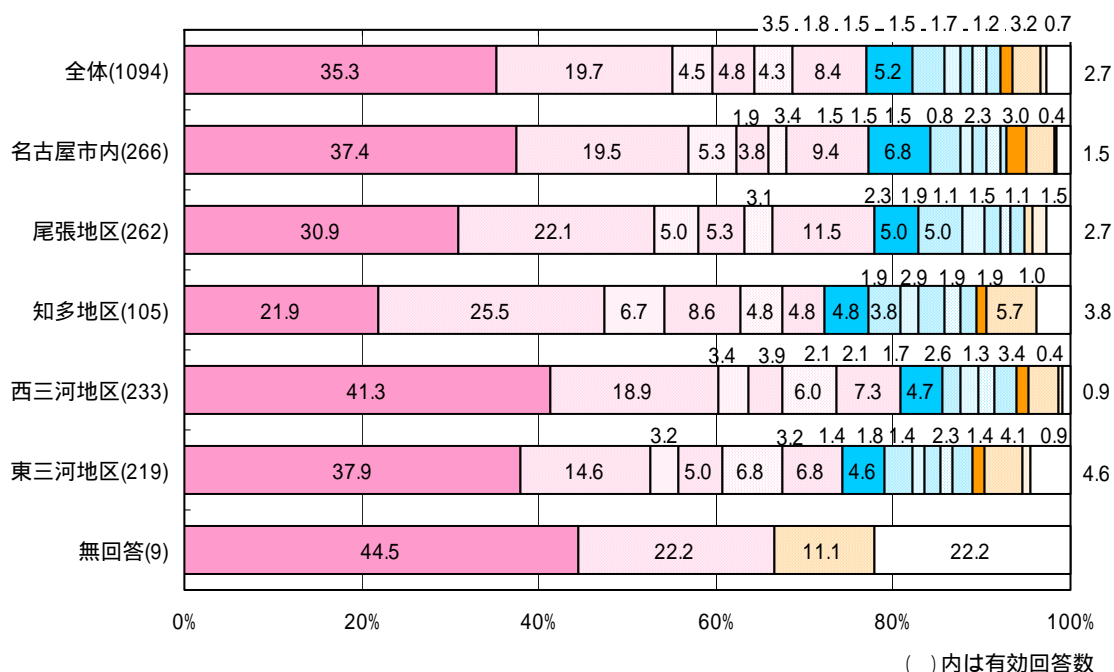


## (7) 多文化共生への行政の取組

設問 日本人住民と在住外国人とがともに暮らしやすい社会にしていくためには、あなたは県や市町村など行政はどんな取組に最も力を入れるべきだと思いますか。  
(日本人県民のみ)

多文化共生への行政の取組については「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」が35.3%で最も多い。次いで、「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」が19.7%となっており、この2項目で半数を超えている。まずは、日本での基本的な生活に馴染むための取組を求める意見が多い。

なお、居住地区別では、外国人数が比較的少ない知多地区のみ、「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」が最も多くなっている。

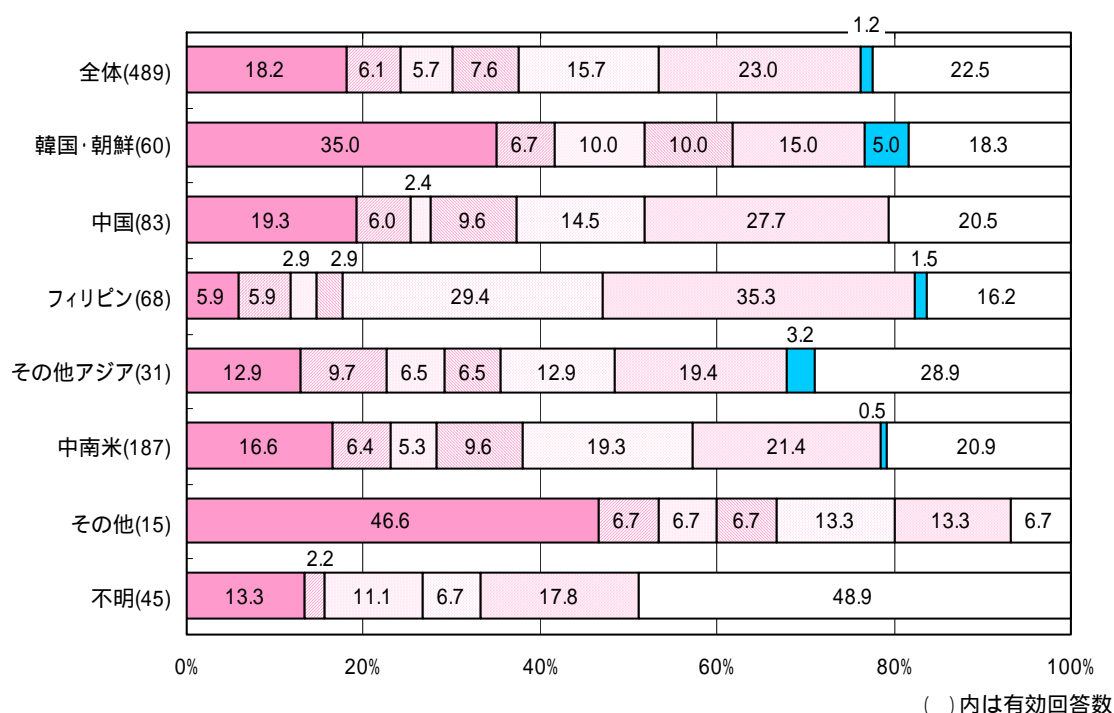


- 外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する
- 外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する
- 外国人に対し、日本語の学習を支援する
- 外国人の労働環境の改善を促す
- 外国人の子供に対する教育を充実させる
- 日本人と外国人との交流の場をつくる
- 外国人に対する医療・保険・福祉分野の施策を充実させる
- 日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する
- 外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す
- 外国人に意見表明の場や県政への参加の機会を増やす
- 日本人に対し、外国語の学習を支援する
- 着実に多文化共生施策を推進するために、条例を制定する
- 特にない
- わからない
- その他
- 無回答

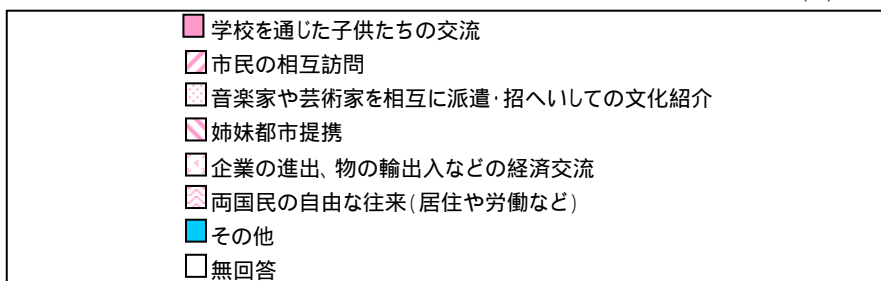
(8) 県と母国との交流

設問 在住外国人の皆さんの母国と、愛知県との間で交流をしたら、どんな分野の交流がいいと思いますか。(外国人県民のみ)

県と母国との交流については「両国民の自由な往来(居住や労働など)」が23.0%で最も多くなっている。次いで「学校を通じた子供たちの交流」が18.2%、「企業の進出、物の輸出入などの経済交流」が15.7%であり、幅広い分野の回答となっている。国籍地域別では、韓国・朝鮮では「学校を通じた子供たちの交流」が多くなっている。フィリピンでは「企業の進出、物の輸出入などの経済交流」、「両国民の自由な往来(居住や労働など)」が多くなっている。



( )内は有効回答数



### 3 新たな国際化推進計画策定検討会議

#### (1) 開催要綱

##### 新たな国際化推進計画策定検討会議開催要綱

###### (目的)

第1条 愛知県の今後の国際化推進施策の方向性を示す新たな国際化推進計画(以下「計画」という。)を策定するにあたり、幅広い視点で総合的・体系的に議論し意見をいただくため、新たな国際化推進計画策定検討会議(以下「検討会議」という。)を開催する。

###### (所掌事項)

第2条 検討会議は、第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について協議、検討を行う。

- (1) 愛知県を取り巻く国際化の状況について
- (2) 計画の目標について
- (3) 国際化の推進施策について
- (4) その他国際化推進について

###### (構成)

第3条 検討会議は、別紙に掲げる委員により構成する。

###### (座長等)

第4条 検討会議に座長及び座長代理を置く。

- 2 座長は委員の互選により選出する。
- 3 座長代理は座長があらかじめ指名し、座長に事故等があるときは、その職務を代理する。

###### (会議)

第5条 検討会議は、愛知県地域振興部長が招集する。

- 2 会議録及び会議資料は、5年間保存する。

###### (分科会)

第6条 検討会議の下で、経済交流に関する事項及び文化・人的交流に関する事項を検討する分科会を開催する。

- 2 各分科会の構成メンバーは、検討会議において検討会議委員の中から選定する。
- 3 分科会は愛知県地域振興部国際課長が召集し、進行する。
- 4 議事録及び資料は、5年間保存する。

###### (公開)

第7条 検討会議及び分科会(以下「会議等」という。)は、原則として公開するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

- (1) 愛知県情報公開条例(平成12年愛知県条例第19号)第7条に規定する不開示情報が含まれる事項に関して協議・検討等を行う場合

(2) 会議等を公開することにより、当該会議等の円滑な運営に著しい支障が生ずると認められ、座長又は国際課長が会議等の一部または全部を公開しない旨を決定した場合

2 会議等の傍聴方法については、別途定める。

(開催期間)

第8条 会議等は、平成19年度において開催する。

(庶務)

第9条 会議等の庶務は、地域振興部国際課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、会議等に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成19年4月20日から施行し、平成20年3月31日をもって廃止する。

(2) 委員名簿

新たな国際化推進計画策定検討会議 委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	職名等
アーナンダ・クマール	鈴鹿国際大学国際学科教授 国際交流センター所長
石川百代	日本ジューズ・ターミナル株式会社代表取締役社長
北川 潤	社団法人中部経済連合会国際部長
佐分晴夫	国立大学法人名古屋大学理事・副総長
ジョリー 幸子	愛知淑徳大学大学院ビジネス研究科教授
崔 炳智	韓国観光公社名古屋支社次長
西脇 仁司	名古屋商工会議所産業振興部部長 国際グループ長
福島 茂	名城大学アジア研究所所長
松川 玲子	特定非営利活動法人愛知善意ガイドネットワーク事務局長
松本 裕樹	独立行政法人日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター所長
山中 令子	特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター 代表理事
米田 博	独立行政法人国際協力機構中部国際センター所長

：座長           ：座長代理

(3) 分科会の構成

経済交流に関する分科会		文化・人的交流に関する分科会	
石川委員	北川委員	クマール委員	佐分委員
崔委員	西脇委員	ジョリー委員	松川委員
福島委員	松本委員	山中委員	米田委員

## 4 愛知県国際化推進連絡会議

### (1) 設置要綱

#### 愛知県国際化推進連絡会議設置要綱

##### (目的)

第1条 本県の国際化の推進について、一体的かつ効果的な推進を図るため、愛知県国際化推進連絡会議(以下「会議」という。)を設置する。

##### (所掌事務)

第2条 会議は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 本県の国際化推進に関する総合的な連絡・調整に関すること。
- (2) その他、国際化の推進に必要な事項に関すること

##### (構成)

第3条 会議は、別表に掲げる者(以下「構成員」という。)をもって構成する。

2 会議には議長を置き、地域振興部長をもってこれに充てる。

##### (運営)

第4条 会議は、議長が統括し、必要に応じ召集するものとする。

2 議長は、必要に応じ構成員以外の関係者の参加を求めることができる。

##### (意見の聴取)

第5条 議長は、必要があると認めるときは、会議に有識者の出席を求めて、その意見を聴取することができる。

##### (部会)

第6条 会議には、部会を置くことができる。

2 部会は、議長の要請に基づく検討等を行うものとし、その運営については議長が別に定める。

##### (庶務)

第7条 検討会議に関する庶務は、地域振興部国際課において処理する。

##### (雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に必要な事項は、議長が別に定める。

附 則(省略)

## (2) 会議構成員

## 愛知県国際化推進連絡会議構成員

部 局	構 成 員
知事政策局	企画課長
総務部	人事課長
地域振興部	国際監
	地域政策課長
	国際課長
	多文化共生推進室長
	情報企画課長
	航空対策課長
県民生活部	県民総務課長
	人権同和对策室長
	社会活動推進課長
	男女共同参画室長
	地域安全課長
	文化芸術課長
私学振興室長	
防災局	防災危機管理課長
環境部	環境政策課長
	地球温暖化対策室長
	自然環境課長
健康福祉部	医療福祉計画課長
	児童家庭課長
	医務国保課長
産業労働部	産業労働政策課長
	地域産業課長
	新産業課長
	産業立地通商課長
	観光コンベンション課長
	就業促進課長
農林水産部	農林政策課長
	園芸農産課長
建設部	建設企画課長
	公園緑地課長
	港湾課長
	県営住宅管理室長

部 局	構 成 員
企業庁	企業誘致課長
病院事業庁	管理課長
議会事務局	総務課長
教育委員会	教育企画室長
	生涯学習課長
	高等学校教育課長
	義務教育課長
警察本部	警務課長

### (3) 部会運営要領

#### 愛知県国際化推進連絡会議部会運営要領

##### (目的)

第1 この要領は、愛知県国際化推進連絡会議(以下「会議」という。)設置要綱第6条の規定に基づき、部会の運営について、必要な事項を定める。

##### (所掌事務)

第2 部会は、特定の分野において関係部局の調整を必要とする事項について、情報交換、協議、検討及び調整を行う。

##### (部会の構成及び運営)

第3 別表1に掲げる部会を設置し、それぞれ部会長を定めるものとする。

2 各部会の構成員は、別表1の構成課室の課長補佐級の職員とする。但し、課長補佐級職員を充てるのが困難な場合は主査級の職員とする。

3 部会は、部会長が必要に応じて招集する。

4 部会長は、部会の構成員以外の者の出席を求めることができる。

5 部会で協議した事項については、部会長が会議へ報告するものとする。

##### (庶務)

第4 各部会の庶務は、各部会長の課室において処理する。

##### (雑則)

第5 この要領に定めるもののほか、部会の運営に必要な事項は、各部会長が別に定める。

#### 附 則

この要領は、平成18年11月7日から施行する。

新たな国際化推進計画策定部会は、同計画の策定をもって解散することとする。

(別表1) 部会の構成課室

名称	部局名	構成課室
新たな国際化推進計画策定部会 (部会長・国際課長)	知事政策局	企画課
	総務部	人事課
	地域振興部	地域政策課、国際課、多文化共生推進室、 情報企画課、航空対策課
	県民生活部	社会活動推進課、男女共同参画室、文化芸術課、 私学振興室
	防災局	防災危機管理課
	環境部	環境政策課、地球温暖化対策室
	産業労働部	産業労働政策課、地域産業課、新産業課、 産業立地通商課、観光コンベンション課、 就業促進課
	農林水産部	農林政策課、園芸農産課
	建設部	建設企画課、公園緑地課、港湾課
	企業庁	企業誘致課
	病院事業庁	管理課
	教育委員会	教育企画室、生涯学習課、高等学校教育課、 義務教育課
	警察本部	警務課
多文化共生推進室 (部会長・多文化共生推進室長)	知事政策局	企画課
	総務部	人事課
	地域振興部	国際課、多文化共生推進室
	県民生活部	人権同和対策室、社会活動推進課 男女共同参画室、地域安全課、私学振興室
	防災局	防災危機管理課
	健康福祉部	児童家庭課、医務国保課
	産業労働部	就業促進課
	建設部	県営住宅管理室
	教育委員会	教育企画室、生涯学習課、高等学校教育課 義務教育課
	警察本部	警務課

## 5 検討状況

平成18年11月17日	愛知県国際化推進連絡会議開催
平成19年 5月23日	第1回 新たな国際化推進計画策定検討会議開催
5月30日	愛知県国際化推進連絡会議 第1回 新たな国際化推進計画策定検討部会開催
7月20日	第1回 経済交流に関する分科会開催
7月20日	第1回 文化・人的交流に関する分科会開催
10月26日	市町村との意見交換会(尾張、海部地区)開催
11月1日	市町村との意見交換会(知多、三河地区)開催
11月2日	第2回 経済交流に関する分科会開催
11月9日	第2回 文化・人的交流に関する分科会開催
11月19日	第2回 新たな国際化推進計画策定検討部会開催
平成20年1月23日 ~ 2月22日	パブリックコメント実施
2月29日	第2回 新たな国際化推進計画策定検討会議開催
3月18日	愛知県国際化推進連絡会議開催



## あいちグローバルプラン

平成 20 年 3 月  
愛 知 県

地域振興部国際課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

TEL : 052-964-6180 (ダイヤルイン)

FAX : 052-951-2590

ウェブサイト : <http://www.pref.aichi.jp/kokusai/>